

問1 江戸時代の徳川吉宗が行った享保の改革では、質素簡約による財政再建や、目安箱の設置を通じた民意の反映など、多角的な政策が展開されました。この改革の一環として、裁判を迅速かつ公正に行うために、判例に基づいた判決の基準を定めた法典として最も適切な名称を答えてください。（2021年 奈良公立入試 類似）

1. 公事方御定書 2. 武家諸法度 3. 生類憐みの令 4. 御成敗式目

問2 18世紀に起こったフランス革命が、それ以前の政治体制をどのように変えたかについて説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 国王が絶大な権力を持つ絶対王政が倒され、主権が国民にあることが示された。 2. イギリスの植民地支配から独立し、大統領を元首とする共和制が樹立された。 3. 一滴の血も流さずに議会政治が確立され、立憲君主制の基礎が築かれた。 4. 労働者や兵士が中心となり、世界で初めての社会主義政権が誕生した。

問3 古代の律令制度下では、地方の特産品を都へ納める「調（ちょう）」という税がありました。現在の上総国（千葉県中部）一帯から「調」として納められ、その質の高さから朝廷で重宝された麻布を何と呼びますか。（2015年 千葉公立入試 類似）

1. 望陀布 2. 上総米 3. 下総醤油 4. 房総節

問4 フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって皇帝の地位についた人物は誰か。（2023年 香川公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. クロムウェル 3. ワシントン 4. ロベスピエール

問5 フランス革命後の混乱の中で軍事的な功績を背景に実権を握り、1804年に皇帝の座についてヨーロッパの大部分を支配した人物は誰か。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. ルイ16世 3. ワシントン 4. ビスマルク

問6 田沼意次が、従来の「年貢（米）」による収入を増やす方針から、商工業者の活動を利用する方針へと大きく転換した背景として、最もふさわしい説明を選択してください。（2021年 三重公立入試 類似）

1. 貨幣経済が農村まで浸透し、米を基準とした財政システムだけでは幕府の運営が困難になっていたから。 2. 「生類憐みの令」の影響で農業生産力が低下し、食料不足を解消するために商業を振興させる必要があったから。 3. 鎖国体制を完全に廃止して外国との自由貿易を開始するために、国内の商工業を大規模に組織化する必要があったから。 4. 武士が商業に従事することを許可し、身分制度を解体することで新しい国家建設の資金を得ようと考えたから。

問7 江戸時代後期、多くの諸藩が財政難に苦しむ中で行った「藩政改革」において、財政を立て直すために広く採用された経済政策として、最も適切な説明を選んでください。（2017年 群馬公立入試 類似）

1. 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。 2. 幕府による株仲間の解散令に従い、商人の独占を廃止して自由な商取引を奨励した。 3. 参勤交代の負担を減らすために、大名が江戸に滞在する期間を半年から1か月に短縮した。 4. 農村の人口減少を防ぐため、他国への出稼ぎを全面的に禁止し、すべての農民を自給自足の生活に戻した。

問8 松平定信が行った「寛政の改革」では、凶作で飢えた農民の救済や、将来の飢饉への備えが重要な課題となりました。当時の記録において、幕府が各藩に対して米の備蓄を命じたり、村の住民が穀物を共同で保存するための施設を設けたことが示されていますが、このような政策が行われた直接的な背景として正しいものはどれですか。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 天明の飢饉によって多くの餓死者が出て、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻発したから。 2. 外国船の来航が相次ぎ、海岸沿いの警備を強化するための兵糧を確保する必要があったから。 3. 新田開発が進んで米の収穫量が大幅に増えたため、余った米を市場に流さないよう調整したから。 4. 貨幣経済が浸透して年貢としての米の価値が下がったため、米の価格を無理やりつり上げようとしたから。

問9 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2024年 埼玉公立入試 類似）

1. 伊能忠敬 2. 間宮林蔵 3. 杉田玄白 4. 新井白石

答え合わせ・解説

問1	答え 1 公事方御定書	徳川吉宗は、それまで各奉行の裁量に委ねられていた裁判の基準を統一するため、過去の判決例を整理して「公事方御定書」を編纂させました。これにより、同様の罪に対して一貫性のある判決が下されるようになり、司法の信頼性と効率性が高まりました。武家諸法度は大名の統制を目的としたものであり、生類憐みの令は5代將軍綱吉によるもの、御成敗式目は鎌倉時代の武士の慣習をまとめたものです。
問2	答え 1 国王が絶大な権力を持つ絶対王政が倒され、主権が国民にあることが示された。	フランス革命は、国王が絶対的な権力を握る「絶対王政」を市民の力で打破した出来事です。これにより、特権階級による支配が終わるとともに、人権宣言を通じて国民が政治の主体となる近代社会への転換が図られました。他の選択肢は、アメリカ独立戦争、イギリスの名誉革命、ロシア革命に関する説明です。
問3	答え 1 望陀布	望陀布（もうだのぬの）は、現在の千葉県袖ヶ浦市や木更津市周辺（望陀郡）で生産されていた高品質な麻布です。律令制において、成人男性に課せられた「調」は各地の特産品を納めるものでしたが、望陀布はその優れた品質から朝廷へ納める貢納品の代表格として扱われ、東国を代表する特産品となっていました。
問4	答え 1 ナポレオン	フランス革命による政治的な混乱が続く中、軍人として頭角を現した人物についての問いです。エジプト遠征などで軍功をあげ、クーデターによって実権を握ると、その後、国民からの圧倒的な支持を背景に皇帝となりました。彼は「ナポレオン法典」を制定し、革命で得られた法の前の平等や私有財産の尊重といった原則を法的に確立しました。
問5	答え 1 ナポレオン	ナポレオンはフランス革命の混乱を收拾して権力を掌握し、ナポレオン法典の制定や対外遠征を通じて、革命の精神である自由や平等の考えをヨーロッパ各地に広めた。ルイ16世は革命によって処刑された当時の国王である。
問6	答え 1 貨幣経済が農村まで浸透し、米を基準とした財政システムだけでは幕府の運営が困難になっていたから。	江戸時代中期になると、都市だけでなく農村にも貨幣経済が広まり、武士も生活に必要な物品を現金で購入する必要が生じていました。一方で、幕府の収入は依然として農民からの年貢（米）が中心であり、不作の影響を受けやすく不安定でした。田沼意次は、こうした社会の変化に対応するため、農本主義的な考えから一歩進み、商業資本を活用して財政を安定させるといった合理的な判断を行いました。
問7	答え 1 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。	江戸時代後期の諸藩は、貨幣経済の浸透により深刻な財政難に陥っていました。これを打開するため、各藩は領内の特産物（薩摩藩の黒砂糖や長州藩の紙・ろうなど）を藩が独占的に買い上げ、大坂や江戸の市場で販売して利益を上げる「専売制」を導入しました。これにより、商人に頼らずに藩自らが利益を確保し、財政の再建を図りました。一方で、幕府が江戸で行った株仲間の解散（天保の改革）などは、藩政改革とは異なる動きです。
問8	答え 1 天明の飢饉によって多くの餓死者が出て、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻発したから。	寛政の改革の直前には、近世最大級の惨事となった天明の飢饉が発生していました。この飢饉による食糧不足は、深刻な農村の荒廃だけでなく、都市部での打ちこわしや農村での百姓一揆を招き、幕府の支配体制を揺るがしました。松平定信は、政情の安定には食糧の確保が不可欠であると考え、困米や穀物倉などの備蓄政策を推し進めました。
問9	答え 1 伊能忠敬	50歳という当時としては高齢で隠居した後、幕府の天文方であった高橋至時に弟子入りし、最新の測量技術を習得しました。当初は自費を投じて蝦夷地の測量を開始しましたが、その技術の高さと熱意が認められたことで、後に幕府の正式な事業として全国を測量することになりました。彼の作成した「大日本沿海輿地全図」は、当時の世界基準に照らしても極めて精度の高いものでした。